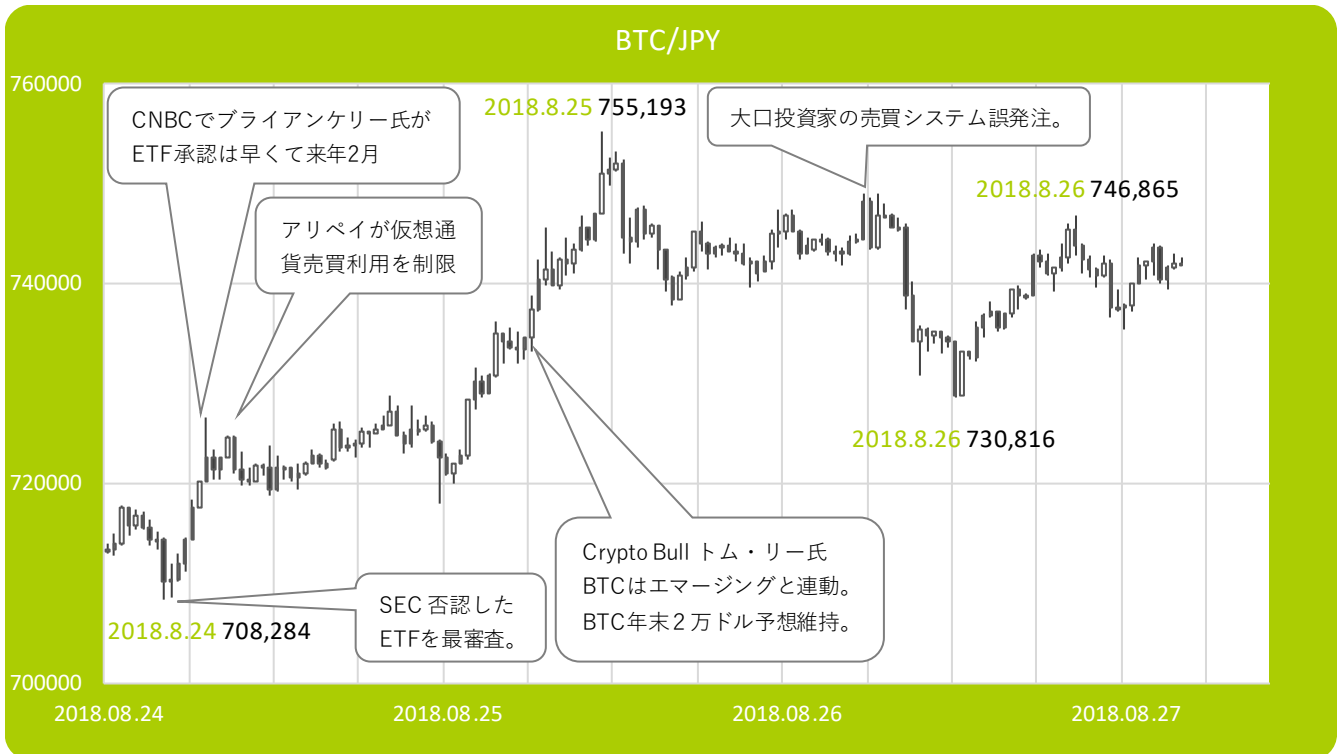


【悪材料続く中、75万円台に戻す】



通貨	BTC	ETH	XRP	BCH	LTC
価格	747,738	30,651	36.1	58,038	6,406
先週金曜日比	+3.5%	▼0.2%	+0.1%	▼0.9%	+1.6%

Review

ショートカバー続く

週末のBTC相場は反騰、前回高値である75万円台半ばまで上昇。ETF否認による下落も69万円台で下げ渋ったBTC相場だが、SECのヘスター・ピアース委員がETF再審査を咄くと反発。その後、再審査は委員の投票などを意味し、現状では否認される可能性が高いとの報道が続き、またCNBCのコメンテーター、ブライアン・ケリー氏が承認は最速で来年2月とすると、72万円台での揉み合いに転じる。その後、中国のアリペイが仮想通貨売買に使用されるアカウントを凍結するとの報道に頭を重くするが、Crypto Bullのトム・リー氏が年末2万ドル予想を維持すると前回高値水準である75万円台に乗せた。システム取引の誤発注騒ぎで値を下げる局面もあったが、その後は揉みあい推移。大口の資金移動が話題となったETHと分裂騒動のBCHは冴えない値動きを続けている。

Outlook

リスクオンは仮想通貨買い？

本日のBTC相場は引き続き上値余地を探る展開を予想する。ETF否認、中国での規制強化といった悪材料の下、75万円台まで反発。前回の73.5万円超えが買い仕掛けによる一時的なものという見方を否定した形。今回の下落相場の半値戻しの80万円近辺までは特段材料がなくとも溜まったショートの買戻しで戻すと考える。Fundstratのトム・リー氏はBTCとエマージング指数との連動を指摘、リスクオフはBTC買いとする従来の定説に疑問を呈した。レイバーデー明けから米市場に投資家に戻るとリスクオンに転じる傾向があり9月からの変調に要注意だ。

著作権表示@2018 FXcoin 株式会社

本レポートは一般的な情報提供を目的に作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。レポート内のいかなる情報又は意見も、仮想通貨の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。本レポートは信頼できるとされる情報に基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではありません。本レポートは予告なしに内容が変更されることがあります。本レポートは著作物であり、著作権法により保護されております。当社の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家へ配布することはできません。